

# 平成 27 年度 下 半期 指定管理者管理運営状況シート

## ●施設の概要

施設名	東児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市大洞桜台1丁目33番地2		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	14,845,371円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄骨造平屋建 ◇敷地面積:1,659.48㎡ ◇延床面積:315.23㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児集会室、図書学習室、静養室、事務室、駐車場(岐阜市大洞桜台市営住宅駐車場)		

## ●利用状況

		H27 下半期	H27 上半期	H26 下半期	H26 上半期	H25 下半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	5,221	5,915	4,845	5,772	5,573
	移動児童館利用者数	371	244	265	270	370
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	8	5	5	5	9
	開館日数(単位:日)	151	156	151	156	151

## ●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①、⑤計画通り実施。 ②所長(常勤)、常勤職員2人。(児童厚生員は、所長を含め3人) ③毎月「おたより」を発行し、配布、公民館・コミセン・芥見南自治会へ広報誌の回覧、児童館ホームページ更新。 ④適切に対応し、防止策を確認。
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施(仕様書別記2参照) ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①、④適切に実施。 ②就労促進事業施設清掃班による清掃を実施。ワックス等の清掃業務を委託。 ③使用していない部屋の消灯、節電を実施。廃材の活用、有るものの再利用。 ④専門業者による野外遊具の点検。日常的に遊具の不具合や危険がないか確認。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	②大規模な修繕については指定管理者(本部)並びに岐阜市に要望を提出。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、②、③マニュアル等に沿って適切に実施。 ②消防訓練の実施、災害や事故等が起こった場合は指定管理者並びに市へ報告。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	平成28年3月9日、17日 幼児クラブに参加の保護者にアンケート(無記名)を実施。 回答数 21人
利用者アンケートの実施結果	○児童センター運営について ・施設 満足6人、ほぼ満足7人、普通8人、やや不満0人、不満0人、無回答0人 ・クラブ 満足18人、ほぼ満足3人、普通0人、やや不満0人、不満0人、無回答0人 ・職員 満足19人、ほぼ満足2人、普通、0人、やや不満0人、不満0人、無回答0人 ○楽しかったプログラム(複数回答可、上位3つまで記載) ・すくすくクラブ(楽しかった)ミニサーキット、コーナーあそび、終了式とおかいものごっこ6人 ・なかよしクラブ(楽しかった)終了式・おみせやさんごっこ14人、サーキットあそび13人、消防見学に行こう12人 ○参加の幼児クラブ以外で、今後も参加してみたいもの⇒自由参加型幼児クラブ(ぴよぴよクラブ)9人、食育講座や子育て講演会6人、児童センターまつり(げんきまつり、フェスティバル)16人 ○クラブで感じたこと⇒いつもいい雰囲気の中楽しく参加できて嬉しいです。毎回バラエティーにとんだ企画ありがとうございました。・先生方がとっても優しく楽しかったです。・地域の同じ年くらいの人とも知り合いになって、子どもたちも協調性など身につけられて、とてもよかったですと思います。ありがとうございました。・子どもがすごい楽しそうで、また4月からもお願いしたいです。等
利用者からの要望・苦情と対応・改善	○要望⇒回答 ・荷物置場の棚やロッカーがあると良いなと思います。 ⇒現在市の方で検討中です。しばらくお待ちください。 ・おもちゃに電池を・・・ ⇒定期的に点検していますが、遊びを妨げるおもちゃがありましたら、お知らせください。また、電池は事務室で入れ替えますので、お気軽にお声をかけてください。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な広報活動の実施(ホームページなど)	A	A	A
		区分評価			A	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	A	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者アンケートの実施 ・苦情・クレームへの着実な対応	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施(仕様書別記3参照) ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	A	A	A
		利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	S	S
		サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	・事務分掌等に基づく事務分担の実施	A	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		区分評価			A	
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	指定管理経費の妥当性(収支計画の妥当性など)	・収支計画に沿った運営(予算書に沿った執行)	A	A	A
		管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価			A	

安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A
		リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価				
区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	A	A	A
		地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	A	A	A
		区分評価				

### ●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組みに対する評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>□乳幼児対象で行ってきた「おもちゃの広場」を、冬休みにおこない、小学生と乳幼児とのふれあいの場を設けた。</li> <li>□食育講座は、親子参加で「おせち料理」を作った。なかなか家庭で手作りおせちを作らなくなり、ひとつのきっかけになればと思い実施した。親子共にすすんで協力しあいおこなっている姿や、お母さん自身初めての「はんぺん」作りはとても好評であった。</li> <li>□利用者との日常の会話やコミュニケーションを大切に、子どもの気持ちを理解することに努めた。</li> <li>□研修会で得たものづくりを、児童や母親講座で実施した。</li> <li>□平成26年度の利用者10,617人が平成27年度は11,136人、わずかだが利用者が増えた。</li> <li>□新聞跳びあそび(新聞高跳び)が日常的に行われる遊びの一つになり、子どもたちがあきらめないで挑戦したいという意欲がでてきた、順番やルールを守るようお互いが声をかけあえるようになってきた。</li> </ul>
前回までの意見を踏まえた取組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>□小学生のボールあそびや新聞跳びに幼児も参加して一緒にあそぶことができた。</li> <li>□研修会などで得たことを行事に取り入れた。</li> <li>□年度はじめの運営委員会でPRしたため、子ども会から移動児童館の依頼を受けた。</li> <li>□子どもたちからの希望で、プラ板キーホルダー作りとバドミントン大会を実施した。</li> </ul>
今後の取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>□新しい取組みも職員間で出し合いながら、子どもたちが児童センターで安心して過ごしたり、友だちと関わる事ができる環境づくりに努める。</li> <li>□地域にある施設に訪問し、子どもたちと施設入居者との交流をおこなう。</li> <li>□中高生をはじめ、地域住民のボランティアが、参加や活動できる機会を増やしていく。</li> <li>□幼児をもつ保護者に児童センターを知っていただき、利用していただけるようなPRをしていく。</li> </ul>

### ●所管課の意見

<p>毎月の児童センターの広報紙を担当地域の小学校へ配布するとともに、公民館やコミュニティセンターに配置、各自治会への回覧依頼、また、ホームページの掲載などの広報活動を行っている。</p> <p>地域柄乳幼児が少ない地区であり、平成27年度の子どもの利用者数は岐阜市内の児童館、児童センターの中で一番少ない状況にあるが、利用者とのコミュニケーションを大切にすることや子どもの希望を行事に反映させることなどに努めた結果、平成26年度より利用者が若干増えることとなった。(平成26年度 10,617人 ⇒ 平成27年度 11,136人)</p> <p>地元住民のボランティアによる卓球指導のほか、チェス指導に地元の高齢者を含むボランティアをお願いするなど、地域との交流、連携を積極的に図っている。</p> <p>職員体制や経営状況についても問題なく運営されている。</p>
--

### ●指定管理者評価委員会の意見

<p>子どもの数が減少している地域であるが、利用者に対する様々な取組や工夫により、利用者数が増加したことについて評価したい。</p> <p>地域の高齢者ボランティアと連携し子どもと交流する活動については、地域の子どもの育成にとっても大変価値があり、今後も継続して行って頂きたい。</p> <p>移動児童館の回数も増えてきており、今後についても児童館の無い校区での移動児童館を積極的に行ってもらいたい。</p> <p>児童センターを利用する母親に対し定期的に利用者アンケートを行っているが、今後は児童にもアンケート等により意見を聞くなど要望を分析し、満足度向上、利用促進に努めていただきたい。</p> <p>管理運営は適正に行われており、良好と認められる。</p>
---